

医療記者、 そして がん当事者として

2023年11月26日
がん医療フォーラム2023
よみうり大手町小ホール
読売新聞東京本社編集委員室
編集委員 山口博弥

医療ルネサンス
「前立腺がん
治療報告」
20210825

医療ルネサンス №7593 前立腺がん 治療報告



（左）前立腺がんの診断検査（穿刺生検）の様子。右は、手術室で前立腺がんの手術が行われている様子。

ホルモン療法「女性化」も

長年悩んでいた自分、自分でもなごうしまのうのか。治療法を決めた私(58)は、少し不安になった。

昨年9月、再発リスクの高い「超高リスク」の前立腺がんが診断された私は、複数の治療法を比較検討した結果、東京慈恵医大病院（東京都港区）で、三つの治療法を組み合わせた「トリモダリティ」という治療法を受けることになった。

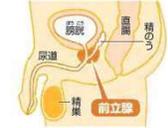
トリモダリティとは、手術、放射線療法、ホルモン療法を組み合わせた治療法のこと。私は、手術、放射線療法、ホルモン療法を順番に受けることになる。手術は、前立腺がんを摘出する。放射線療法は、残った前立腺がんを殺す。ホルモン療法は、男性ホルモンの分泌を抑える。次に、3種類の放射線治療でがんを徹底的にたたき、引き続き年間、同じ注射を継続する。男性ホルモンが減少し、筋肉量や骨密度の減少、脂肪の増加、貧血などの副作用が表れる。乳房が膨らみ、骨密度が低下する。乳房が膨らむのも、いわば女性化が進むわけだ。患者の体感を重視して、乳房が膨らむのを抑えたい。私は、乳房が膨らむのを抑えたい。私は、乳房が膨らむのを抑えたい。私は、乳房が膨らむのを抑えたい。

昨年10月の雑誌「前立腺がん」記者の選択に、前立腺がんの診断検査の様子、私が受けた治療法の詳細を載せた。日本のがん医療の現状、最新の治療法を紹介する。

（編集委員 山口博弥）

医療ルネサンス 「前立腺がん 記者の選択」 20201221

医療ルネサンス №7430 前立腺がん 記者の選択



がんの種類	男性の罹患率(人/10万)	全体の10年生存率(%)
前立腺	9万1215	88.8
胃	8万9331	66.8
大腸	8万7019	68.7
肺	8万2880	52.4

「自分は、やはり前立腺でいい」と、今年7月、東京都内、今更(58)は、泌尿器科の先生から、前立腺がんの診断を受けた。先生は、前立腺がんは、早期に発見すれば、治療の選択肢は多い。前立腺がんは、早期に発見すれば、治療の選択肢は多い。前立腺がんは、早期に発見すれば、治療の選択肢は多い。

「自分は、やはり前立腺でいい」と、今年7月、東京都内、今更(58)は、泌尿器科の先生から、前立腺がんの診断を受けた。先生は、前立腺がんは、早期に発見すれば、治療の選択肢は多い。前立腺がんは、早期に発見すれば、治療の選択肢は多い。前立腺がんは、早期に発見すれば、治療の選択肢は多い。

がんが見つかったきっかけ

2020年7月
会社の健康診断でPSA検査を受ける

同8月上旬
結果が届き、再検査を促す通知が届く

PSAの数値が高いということは…

前立腺がん？

でも、前立腺肥大でも数値は上がる…

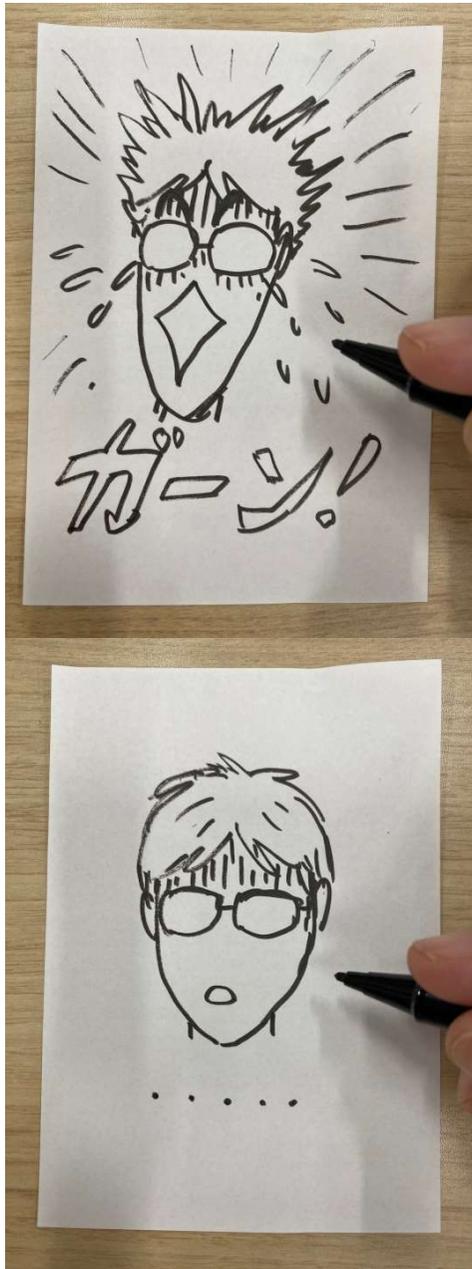


20年8月下旬、都内のクリニックを受診

ロボット手術の経験豊富な泌尿器科医が週に数回、診察している、との情報を得て。

直腸診と超音波(エコー)検査の結果…

「前立腺がんの疑いがあります。特に右側が大きくて硬い」



…というショックはなく

翌日、病院で「針生検」の結果…

前立腺から組織12本を採取



12本全部から、がんが見つかった！

針生検の結果・・・

グリソンスコア(悪性度の指標)

6以下 →低リスク

7 →中リスク

8～10→高リスク

私は「9」→高リスク

再発リスクが高い、ということ！

※ただし、数字を見せてもらっただけで、「高リスク」との説明はなかった

CTと骨シンチグラフィ検査の結果・・・

幸い、リンパ節や骨へのがんの転移は見つからず



高リスクの限局がん

泌尿器科医からは・・・

「私はロボット手術をお勧めします。できれば、私にやらせてほしい」

放射線治療の説明はなかった

このまま手術をお願いしようか・・・

米国のがん専門病院で経験を積み、ロボット手術の経験も豊富らしい。口調からは、技術に自信が感じられ、信頼できそうだ。

しかし！

私はこれまで度々、「賢い患者になりましょう」と記事に書き、講演でしゃべってきた。そして、いつもこう強調してきた。

「家を買うときは複数のハウスメーカーを回って話を聞き、じっくり検討するのに、なぜ、命に関わるがんの治療では、セカンドオピニオンを聞かないのでしょうか」

しかも

「私が泌尿器科医だから、セカンドオピニオンは放射線治療医がいいかもしれません」と言ってくれた。

言いにくかったが…

「セカンドオピニオンを聞きたい」

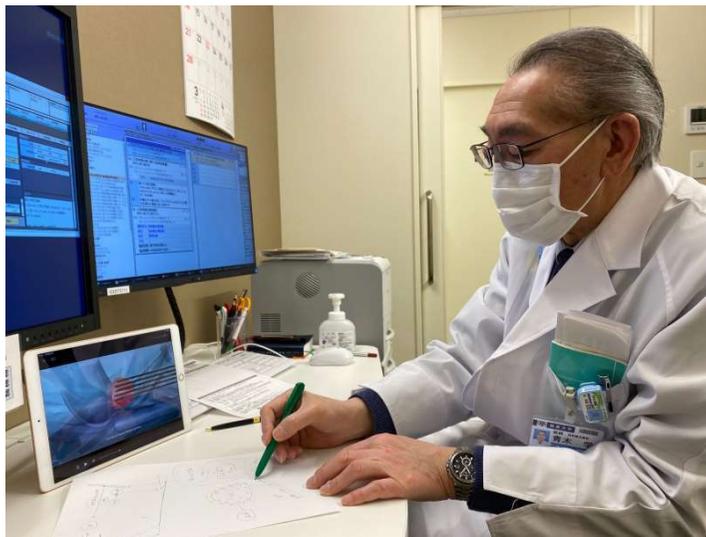
「ぜひ、聞いてください」と医師



「自分の腕に自信があるんだな」と、さらに信頼感が増した。

東京慈恵医大病院で
セカンドオピニオンを聞くことに
→放射線治療部へ

青木学・慈恵医大放射線治療部教授



青木学・慈恵医大放射線治療部教授

手術について背中を押してもらった
もりだったが…

**「あなたのがんの場合、うちの
大学では基本的に手術はし
ません」**

その理由と見通し

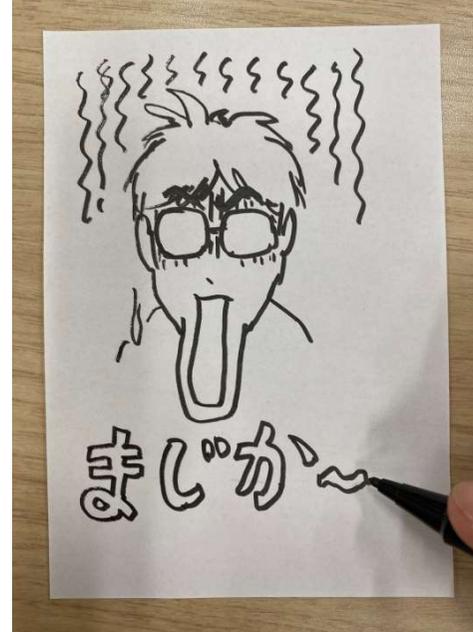
高リスクの前立腺がんでは、**見えな
い転移**がある可能性が高い



もし再発を繰り返せば、70歳まで
は生きられても、**80歳までは難し
いかもしれない**



…ここまでのショックは
受けなかったものの

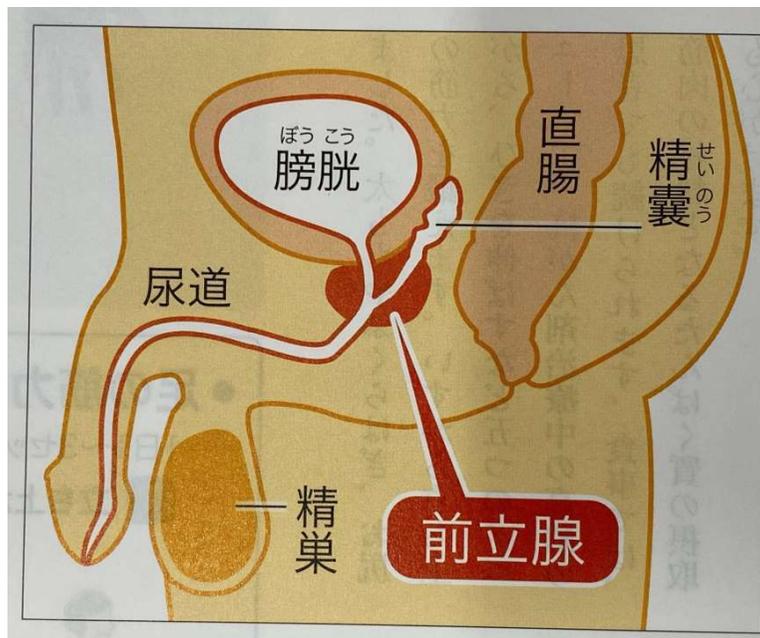


まだ受けていない検査が…

最初の泌尿器科医は

直腸診・エコー（超音波）・針生検・CT・骨シンチは実施したが、MRIを撮っていなかった。

「精嚢への浸潤を確認するには、MRIは絶対に必要です」（穎川教授）



MRIの結果

がんは前立腺の右側の被膜を破り、精嚢にも進んでいた→**T3b**



グリソンスコア（悪性度）が9で、精嚢に浸潤していれば、

「**超高リスクがん**」に分類される

A病院で予定日を押さえていた手術をキャンセル

で、じゃあ、どうするか…

「もっと他の専門医の意見を聞かなくては！」



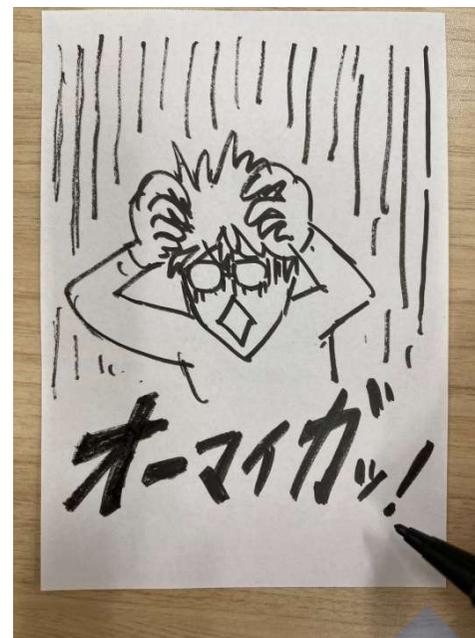
大学教授、がん専門病院の部長ら泌尿器科医数人に直接or間接にメールで私のがん情報を伝え、意見を聞いた。

その結果…

- ・ A 医師→手術単独
- ・ B 医師→ホルモン療法後に手術
- ・ C 医師→ホルモン療法後に放射線治療
- ・ D 医師→ホルモン療法と抗がん剤治療後に手術



勧める治療法がバラバラ！（標準治療がない）



がん医療フォーラム 2023 活用しよう！相談と支え合いの場

腺友ネット
前立腺がん情報発信サイト

HOME 腺友倶楽部 前立腺がんガイドブック 推奨サイト リンク集

更新情報

- 2022.11.09 「Mo-FESTA CANCER FORUM 2022」申込受付中
- 2021.11.03 「Mo-FESTA CANCER FORUM 2021」申込受付中
- 2020.11.02 「Mo-FESTA CANCER FORUM 2020」申込受付中
- 2019.11.01 「Mo-FESTA CANCER FORUM 2019」申込受付中
- 2016.06.13 「前立腺がんセミナー 患者家族の会2016東京」申込受付中

お知らせ

男性がん総合フォーラム
「Mo-FESTA CANCER FORUM 2022」
詳細は [こちらから](#)

「会報」等発行冊子

NEWS

男性がん総合フォーラム
「Mo-FESTA CANCER FORUM 2022」
11月23日(祝)
TKP ガーデンシティPREMIUM 神保町

Mo-FESTA CANCER FORUM 2022
11月23日(祝)

「腺友倶楽部」設立への思い (2014年11月)

腺友倶楽部 代表 武内 務

PSAの異常高値(3桁!)を告げられたのは2004年の秋のことでした。
「5年生存率2割」と告げられ、ようやくの思いで「IMRT」という放射線治療に辿り着きましたが、それまでに、パソコンの前に数週間座り続けるという苦行が必要でした。10年以上経った現在、元気に活動をしているわけですが、たかが治療情報を見つけるだけで、なぜこのような苦勞をしなければいけなかったのでしょうか!

当時は、治療法は医者に聞けば良いという時代で、患者にはほとんど情報が知らせていませんでした。浸潤がんの患者の治療法は、ほとんどの明記されておらず、IMRTという新しい放射線技術のことは、まだ多くの泌尿器科医が知らないか、信頼していないかのいずれかでした。

前立腺がん患者にとって、欲しい情報がすぐに見つかるサイトが欲しい!
治療が一段落してからは、これを旨として前立腺がんの医療情報の発信と患者さんのサポート活動を続けてきました。

腺友倶楽部
前立腺がん患者・家族の会

腺友倶楽部について Mo-FESTA CANCER FORUM 男性がん総合フォーラム Mo-CHANNEL 動画配信サイト 腺友ネット 前立腺がんガイドブック 会報「腺友倶楽部」 会員ページ

Mo-FESTA CANCER FORUM 男性がん総合フォーラム
Mo-FESTA CANCER FORUM 2023 東京
11月23日(祝) 13:00-17:20 TKPガーデンシティPREMIUM神保町

共催: NPO法人腺友倶楽部 / 日本泌尿器腫瘍学会
後援: 日本放射線腫瘍学会 / 日本対がん協会 / 前立腺がん啓発推進実行委員会 / 全国がん患者団体連合会
協力: キャンサーネットワークジャパン

入会案内、お問い合わせ、ご寄付は「腺友倶楽部について」をご覧ください

直接お会いして、ご相談を受けることも多いのですが、お医者さんが説明される百の理屈よりも、今、自分と似たような病状の人間が、元気に目の前に居る！というその現実のほうが、大きなインパクトを与え、勇気が湧いてくるんでしょうね。これがピアサポートの強みであり、患者会が必要とされる原点でもあるのでしょうか。

がん医療フォーラム 2023 活用しよう！相談と支え合いの場

mo-channel.org

新着ビデオ

主催者挨拶 (開会/閉会)
Posted on 2023年

前立腺がんの治療を受ける際に 知っておきたいこと ～ 病歴19年の患者からの伝言 ～
Posted on 2023年

前立腺がんの治療選択と薬物療法について
Posted on 2023年

放射線治療の進歩と現状について

前立腺がん 転移がんや再発・再燃がんに対する薬物療法
赤倉 功一郎
独立行政法人地域医療推進機構 (JCHO) 東京新宿メディカルセンター 泌尿器科

前立腺癌の重粒子線治療

pros-can.net/01/01-2.html

前立腺がんガイドブック

2: 病状を正確に知ろう!

▶ PAGE CONTENTS

【病状を正確に知ろう!】

- 検診から病態確定まで
 - 従来検診フローチャート
 - 近年の検診フローチャート
 - MRI検査
 - 標準的生検
 - MRI/超音波融合生検
- 病態の判定指標
 - PSA
 - 時期 (ステージ)
 - グリソスコア (GSS)
- 「リスク分類」とは
 - パーティン・モクラム
 - 「リスク分類」
- 「リスク分類」の個別解説
 - 低リスク
 - 中リスク
 - 高リスク
 - 超高リスク
- 転移がん

検診から病態確定まで

pros-can.net/01/01-1.html

腺友ネット

前立腺がん情報発信サイト

HOME 腺友倶楽部 前立腺がんガイドブック 推奨サイト リンク集

CONTENTS

- 前立腺がんガイドブック
 - はじめに
 - 病状を正確に知ろう!
 - 局所療法で治癒をめざす
 - 全身療法で共存をめざす
 - 後遺症

SIDE LINK (参考資料)

1: はじめに

男性がん総合フォーラム Mo-FESTA CANCER FORUM 2022
詳細は [こちらから](#)

前立腺がんガイドブック

1: はじめに

武内 務@ひげの父さん

治療法 (医療機関) の選択が運命の分かれ道となることがある・・・がんの世界では決して珍しいことではありません。患者にとって自分の身を守ろうと思えば、事前に最低限の知識だけはどうしても身につけておかなければならないのです。

2004年の暮れ、私の顔は青ざめて目だけが血走っていました。「手術は無理」と告げられ、頼ったセカンドオピニオンでも「5年生存率2割」というだめ押しを食らい、どこかに良い治療法はないのか、助けてくれる病院はないのか、何週間もパソコン

pros-can.net/01/01-3.html

前立腺がんガイドブック

3: 局所療法で治癒をめざす

▶ PAGE CONTENTS

【局所療法で治癒をめざす】

- 前立腺がん《治療法早見表》
- 監視療法
- フォーカルセラピー
 - 小線源療法 (恥骨後式、会陰式)
 - HIFU (高密度焦点超音波療法)
 - 凍結療法 (クライオセラピー)
- 手術療法
 - 開腹手術 (恥骨後式、会陰式)
 - 腹腔鏡手術
 - 小切開 (ミニマム創) 手術
 - ロボット支援手術
- 放射線療法
 - 外部照射
 - IMRT (強度変調放射線治療)
 - IGRT (画像誘導放射線治療)
 - オリゴメタ (少数転移)
 - 粒子線治療 (重粒子線、陽子線)
 - 組織内照射 (小線源療法: プラキセラビー)
 - 低線量率小線源療法 (LDR)
 - 高線量率小線源療法 (HDR)
 - トリモダリティ (小線源+外照射+オリエン療法)

前立腺癌治療成績の比較

小線源治療については泌尿器科医の間にもは誤解や無理解も多いので、もし主治医から「小線源というのは低リスクにしか使えない」というような説明を聞いた場合には「そのこの医療施設ではやっていない」という意味に解釈していただければ結構です。

IMRT同様、施設によって技術的な開きが大きいので、小線源療法をやっている医療施設なら、**どこでもトリモダリティができるというわけではありません。**

もし手助けが必要なら、直メールをいただければ、可能な限りご協力をさせていただきます。

< 行事の案内 >

1. 「11月の腺友サロン」の開催予定

Zoomミーティング：11月15日（水）、19：30～21：30

飲食OKですので、気楽にご参加ください。

Zoomミーティングに参加する招待URL等は後程お知らせします。

- ① 前半（30～40分程度）：メインルームにて体験談、関連情報のお話し「体験談等」のお話の申し出がありませんでしたので、

武内理事長の講師：「がん教育」についてのお話となります。

- ② 後半（残り21:30まで）：小部屋（ブレイクアウトルーム）に分かれて自由に話し合い。各部屋のファシリテータ（進行役）は、どなたにやっていただいても結構です。小部屋の区分内容及び小部屋への移動方法は、当日説明をいたします。小部屋の区分内容は次の通りです。

- ・ RoomA：限局がん（監視療法、治療中）
- ・ RoomB：限局がん（初期治療後経過観察）
- ・ RoomC：限局がん（初期治療後に再発）
- ・ RoomD：浸潤がん、少数転移がん
- ・ RoomE：多発転移がん

* 会員専用メーリングリスト（ML）について

- ・ ML内での書き込み（発信、返信）は加入者全員に共有されます。
- ・ 事務局からのお知らせも、ほとんどMLを利用しています。
- ・ 会員限定ですので、本名での書き込みを推奨しますが、事務局に届け出れば、仮名（ハンドルネーム）の使用も可能です。
- ・ 自己紹介、病状相談、近況の発信等にご利用ください。病院名や医師名の表示にも、誹謗中傷でない限り規制は設けておりません。
- ・ 携帯のアドレスは、トラブルが多いため避けてください。
- ・ メールの本数が増えるので、専用のGmailの取得をお勧めします。

メーリングリストの書き込みには…

- ・ **がんと診断されて、自分のステージ（病期）やリスク分類などを開示し、アドバイスを求める人**
- ・ **それに対し、一般論でアドバイスする人や、自分が受けた治療法や名医を積極的に勧める人**
- ・ **治療法に関する最新情報を紹介する人**
- ・ **治療の副作用や後遺症について相談する人**
- ・ **医師が勧めるがままに、他の治療法を検討せずに治療を受け、再発して後悔の思いを吐露する人**

慈恵医大でのトリモダリティーを選択

- ・どの治療法がベストかは分からない
- ・少なくとも、手術単独は再発のリスクが高いだろう
- ・トリモダリティーは、私のがんに対して理にかなっていると判断
- ・慈恵医大は、泌尿器科と放射線治療部の連携が良く、手術と放射線治療の実施件数に偏りが無い。2人の教授の説明にも納得。



まとめ&言いたいこと

- ・本当は、病気で心身が弱っている患者が、なぜこんなにも苦勞して情報を集めなければならないのか、疑問を感じる。
- ・それでも、自分の健康は自分で守る意識を持ち、できる範囲で情報を集めたい。
- ・一般向けの書籍、国立がん研究センターのサイト「がん情報サービス」、各がんの診療ガイドライン、各病院のがん相談支援センター、患者会、セカンドオピニオン（サード…）



情報をできるだけ集めて検討し、治療法を選択すれば、仮に再発しても後悔はない！…はず

ご清聴、ありがとうございました。